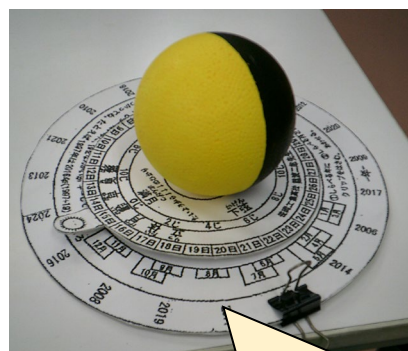


学校図書館支援センター通信 161号

令和3年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

須和田の丘支援学校 読書週間 全校で読み聞かせを楽しみました！



2学期の読書週間の読み聞かせのテーマは『月』でした。読み聞かせの前に、子供たちに見せた「月の満ち欠けがわかる模型」です。学校司書の手作りです。

読み聞かせをする前に提示することで、子供たちの興味や関心が高まります。

須和田の丘支援学校では、年に3回（1学期、2学期、3学期）に読書週間を行っています。司書教諭が中心となり、学校司書と協力しながら、計画を立てます。1月24日（月）～28日（金）に、中学部、高等部で行われた読書週間の様子についてご紹介いたします。

読書週間の主な取組みは、「読み聞かせ」です。読書週間の期間中、校長先生をはじめ担任以外の先生方が、教室に出向き読み聞かせを行います。子供たちは繰り返しのフレーズを覚えて、一緒に発言してくれる子もいました。

学校司書は、学校図書館で大型提示装置を使い、『冬』をテーマに選書された3冊の図書の読み聞かせを行っていました。「雪降ったよね。」という学校司書の声かけから、読み聞かせがスタートしました。『おかしなゆき ふしぎなこおり』のお話は、いろいろな雪の積もり方や動物の足あとが出てきます。「わーすごい」とつぶやきながら、子供たちは、お話を楽しんでいました。そして、「こんな寒い時、動物たちはどうしていると思う？」という問いかけから、2冊目のお話『冬眠のひみつ』に入りました。2冊目は、クイズを出しながら、答えが書かれたページを開き読んでいきました。最後に「植物はどのように冬を過ごしているのかな。」と尋ね、3冊目の『ふゆめがっしょうだん』を読みました。3冊の図書のつながりを意識して、読む順番を工夫したことで、子供たちの興味や関心が高まる読み聞かせとなりました。

学校司書が行った読み聞かせの本を一部ご紹介します！

《小学部》

11月のテーマ おいしいもの、いっぱい！！

『おいもさんがね…』 とよたかずひこ 作・絵
『キャベツくん』 長 新太 作・絵
『まほうのでんしレンジ』 さいとうしのぶ 作・絵

12月のテーマ クリスマス

『ぶたたぬきつねねこ』 馬場のぼる 作
『まどからのおくりもの』 五味太郎 作
『ぐりとぐらのおきゃくさま』 なかかゆりえこ やまゆり 作

《中学部・高等部》

1月のテーマ 冬

『おかしなゆき ふしぎなかたち』 片平 孝 写真・文
『冬眠のひみつ—からだの中で何が起きているの—』 楽しい調べ学習シリーズ PHP 研究所
『ふゆめがっしょうだん』 富成忠夫、茂木透 写真 長 新太 文



テーマを決めて行っています！



“いろいろな本で楽しく交流しよう” これは、信篤小学校の読書月間のテーマです。図書委員は読み聞かせ、クイズに掲示物作りと大活躍。くじ引きで決定した教室を訪問する先生方のサプライズな読み聞かせは、子供にも先生にも新鮮な体験だったようです。

図書館を活用した授業実践の成果を、読書月間に校内共有するのも恒例となりつつあります。読書月間後はPOPや手作り絵本、ファンタジーの粘土作品が図書館に集合しました。今年度は高谷中学校・二俣小学校との読書郵便で、ビンゴや読み聞かせCD等も届きました。図書館で、子供たちは紹介されたいろいろな本を手語り合い、感想を手紙に書き、学年も学校も超えた交流の輪を広げています。

【市川市立信篤小学校 学校司書 菅原しずか】

《読書月間の図書館を活用した授業例》

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1年 『おひさまパン』の読書感想画／はたらくじどうしゃ調べとお話作り | 3年 おすすめ本の立体カード作成 |
| 2年 おすすめ本の紹介カード作成 | 5年 おすすめ本のPOPとスタンド作成 |
| 4年 ファンタジーの紙粘土作品製作 | なのはな学級 手作り絵本『じぶんだけのいろ』 |
| 6年 月と太陽についてレポート作成 | |

第3回学校図書館研修会 1月27日（木）

1月27日（木）、オンラインにて、第3回学校図書館研修会を実施しました。研修会では、文部科学省委託事業推進協力校の曾谷小学校の実践発表と市川市学校図書館アドバイザー小林路子先生より「市川市の学校図書館」についてお話を伺いました。小林先生からは、市川市が「学校図書館支援センター」を立ち上げた目的は、教職員の授業を支えることであったこと、学校図書館運営の充実を図るためには校内体制づくりが大切であるということをお話いただきました。そして、学校図書館を活用することで教員の授業改善につながり、子供たちの言語力、情報活用能力を育むことにも結びつくというお話を伺いました。

また、指導課からは、「学校司書の勤務形態及び授業活用の方法について」の連絡がありました。小学校では、高学年の授業に学校司書が関われないことや学校図書館の環境整備の時間確保が課題となっています。今回の研修会では、課題の解消に向けて、時間割の工夫についての提案がありました。この機会に、ぜひ来年度に向けて、各学校の実態に合わせた時間割について、検討していただければと思います。

曾谷小学校の実践の詳細につきましては、次号にてご紹介いたします。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

